

## 「佐渡市消費者協会」の活動を紹介します

佐渡市消費者協会広報 小林睦子

設立7年目、会員数約500人8地域からなる佐渡市消費者協会は、各地域の活動とともに佐渡市としても「安全で安心して暮せる地区作り」を目標に事業を計画・実施しています。今年度も、佐渡市消費者協会の活動行事を3回(7、11、3月)にわたり紹介する予定です。

今回は、6月5日に実施しました島内視察研修について報告いたします。

「パン用小麦『ゆきちから』畑」を視察研修して

研修参加者74人を乗せたマイクロバス3台が向かったのは小木琴浦の畑地。

昨秋から耕作放棄地でパン用小麦「ゆきちから」の栽培に取り組み、この6月下旬に刈入れを迎える生産者の一人、石塚さんの畑を見学するためです。

琴浦に着きバスから降りると一面小麦畑が青々と茂っていました。小麦畑を見学した後で、生産者の石塚さんのお話を伺いました。



島内に製粉のための機械設備が無いので、せっかく収穫した小麦も、パンやケーキ用米粉の5倍もの価格で販売することになってしまい、国の補助金を利用するだけでは、市場価格に匹敵する佐渡産小麦粉を供給することはできないのが現状だとのことでした。



そんな中でもパン屋さんやケーキ屋さんと協力し、今年の10月には佐渡産小麦粉製品のお披露目会を計画しているそうです。佐渡の生産者、加工業者、販売業者、消費者の皆さんが笑顔で佐渡産小麦製品を愛用出来るよう努力を続けていきたいとお話されていました。

パン用小麦「ゆきちから」には小木と二見半島の土壌が合うようで、これから小麦畑を増やせば佐渡の活性化にも繋がる大切な事業になり得ると思います。なにもかも「安ければ良し」ではなく、私たち消費者が佐渡産の小麦粉が持つ価値を理解し、選択していく必要があると感じました。

佐渡市消費者協会では、毎年「地産地消」をテーマに島内視察研修を行っています。

島内で生産されている作物や生産物について理解し、信頼して購入できる消費者となるために、生産者の努力する姿やその地域を見学し試食をしたり、生産者と意見交換したりしています。佐渡の消費者と生産者の交流が、豊かな佐渡市をつくることにつながると信じて研修を重ねています。

### お問い合わせ

市役所総務課市民相談室消費生活センター係  
☎57-8143



（財）自治総合センターは、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ助成事業を実施しています。

畑野自治公民館では、自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、コミュニティ活動備品（テント、テーブル、イス）を整備しました。

お問い合わせ 市役所地域振興課地域振興係 ☎63-4152

